

平成29年のハタハタの漁獲状況について

水産漁港課

1 漁獲枠について

- 今期のハタハタ漁の漁獲枠は、昨年よりも80トン少ない720トンで、その内訳は沖合290トン、沿岸430トンとなっている。

2 漁獲状況について

- 沖合は、9月24日から12月8日までの漁獲量が192.5トンで、漁獲枠290トンに対し約66%、前年同期比では約52%となっている。
- 沿岸は、12月4日に初漁日を迎え、男鹿南部などでは一定の水揚げがあったものの、本格的な接岸には至っていない。
- 漁獲物の年齢組成は、小型の1歳魚が主体で、これに中・大型の2、3歳魚が混じっている。

[地域別漁獲量]

(単位：トン)

地 域		平成29年	平成28年	平成27年
沖 合	県 北 部	84.6	138.5	76.8
	船 川	68.2	103.5	118.0
	県 南 部	39.7	130.8	94.4
	12月8日現在の計	192.5	372.8	287.2
最終実績(漁獲枠)		— (290.0)	450.0 (320.0)	438.0 (320.0)
沿 岸	県 北 部	0.0	66.5	43.5
	男 鹿 北	—	32.2	94.3
	男 鹿 南	17.7	25.4	84.1
	県 南 部	6.1	4.7	3.3
	12月8日現在の計	23.8	128.9	225.3
	最終実績(漁獲枠)		— (430.0)	393.0 (480.0)
最終実績計(漁獲枠)		— (720.0)	844.0 (800.0)	1,124.0 (800.0)

(水産振興センター調べ)